

△区域メッセージ第9週 Holy Mason (ロマ 16:27)	△聖日1部 モーセとミリアムの賛美(出 15:19-21)	△聖日2部 最初の試み(出 15:22-27)
<p>△最近、病んでいる人が多く、がんの患者が多い。それゆえ、私たちは朝には集中する時間、昼には味わう時間、夜には答えを得る時間を持って、長く安らかに呼吸しながら祈れば、根源的なことが癒やされ、昼にはすべてを祈りに変えて、夜には多くの答えを受ける平安の時間を持てば良い。そして、私たちはみことばを聞けば必ず答えが来るか、応答が来て、変化が起こる。</p> <p>△ヨハ 14:16、14:26、16:13 →使 1:8 聖霊の働きは、目に見えないように今でも働かれる。「わたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください」「神様がわたしの名で祈れば、あなたがたに助け主聖霊を送られ、すべてのことを教え、思い起こさせてくださる」「聖霊が真理に導き、これから起こることを伝えてくださる」そして「聖霊に満たされると力を受けて証人になる」と言われた。</p> <p>□序論 神様がアブラハムを呼んで五つの祝福を約束された。 1. 契約的祝福-わたしがあなたに示す地に行きなさい。みことばについて行きなさいということだ。 2. 根源的祝福-祝福の根源になる 3. 代表的祝福-「あなたによって」私たちが答えを受ければ良い。 4. 不可抗的祝福-あなたに立ちほだかる者はいない。 5. 記念碑的祝福-「あなたの子孫によって国々が祝福を受ける」記念碑を建てれば次世代が見えるようになる。</p> <p>□本論_ロマ 16 章 伝道者の支援者、同労者、家主の答え 1. 一生の答え-神殿(三つの庭) --一生の答えは幕屋、神殿、教会だ。三つの庭がある所だ。 2. 次世代-(金土日時代)-次世代がこの祝福を受けるように金土日時代を作る。 3. 237 - 5000 (黙想時代)-世界福音化をするのに、神様が祈りの力を与えられる黙想時代を開く。 御座-祈りだけすれば御座のやぐら、旅程、道しるべを建てることができる。実践はそれからだ。</p> <p>□結論_Mason 戦争 1. 偶像神殿 2. Free Mason -ネフィリム神殿を作って全地域に瞑想運動を展開している。 3. Holy Mason -神様の神殿を作るのだ。 △この場所に 237、5 千種族を生かす準備、次世代を生かす準備、24 祈りができる、癒やすことができる準備をすべきだ。それが三つの庭で、それを見つけて出すことが金土日時代だ。</p>	<p>□序論 1. 賛美の重要性 1) 賛美がないならば礼拝は完全に暗闇になる。 2) エゼ 28 章神様を賛美していた御使いの墮落→音楽で世界を揺るがしている。 3) 賛美は主の御座を動かす。癒やしが起こる。賛美は、私の人生を変える特別祈りだ。 (1) 極限状況で福音を握って賛美を見つけ出したクロスビー (2) 個人礼拝、公の礼拝回復→賛美の人であるダビデ、パウロ、ルターのような答えを受ける。 2. 賛美回復が礼拝回復だ。 3. ものすごい記念を残す賛美-紅海を渡ったあとのモーセとミリアムの賛美</p> <p>□本論_賛美するとき起こること 1. 賛美するとき、御座の祝福が私に臨んで神様に栄光がささげられる。 1) 詩 22:3 賛美の中におられる主 2) 詩 150:1-6 息ある者はみな主をほめたたえよ 3) エゼ 28 章 音楽を担当する御使いの墮落で奪われた賛美を回復しなさい。 4) 御座の力を動かした賛美 (1) ダビデの賛美-詩篇 (2) パウロの賛美-監獄で (3) モーセとミリアムの賛美(出 15 章) 2. 賛美するとき、暗闇が砕かれ癒やしが起こり神様の力が伝えられる。 1) 賛美するとき、暗闇が砕かれる。 2) 賛美するとき、御座の背景、神の国のことが成り立つので、癒やす力が臨む。 3) 賛美するとき、神様の力がほかの人、次世代に伝えられる。 3. 賛美を回復した人と教会を用いられた。 1) 神様が用いられた賛美の人々-ダビデ、パウロ、マルティン・ルター 2) 音楽戦争-音楽で世界を倒すか、音楽で世界を生かすかだ。 (1) 賛美が正しくなされるように祈って、聖歌隊だけサポートする献金をしなさい。 (2) 賛美が死ぬと礼拝が死ぬので、死んでしまったヨーロッパ教会-時代ごとに賛美が世界を生かした。 (3) サタンが奪っていったしまった賛美を祈りで回復しなさい。</p> <p>□結論_賛美で癒やしが起こる(詩 103:20-22) 祈りと賛美を回復することが私たちに最も重要な力になる。賛美と祈りの深いところに入れば、その次のことは神様がなさる。</p>	<p>社会に入って最初にすべきことは何か。 最初の試みにあったが、「わたしは主、あなたがたを癒やす者」職場に行つて伝道しようとしなくても、祈っていれば来て、傷を出すようになっていく。反対に、ほとんどすべての人が隠している霊的な病気がある。これを癒やすのだ。これが伝道の始まりだ。 RT 7-エジプトを癒やしたヨセフ、イスラエルの民を癒やしたモーセ、ペリシテで傷ついた国家を癒やしたサムエルとダビデ、捕虜になって行った国を癒やしたレムナント</p> <p>□序論_26節エジプトであったすべての病気を癒やす。 1. 奴隷として暮らしたこと自体が病氣(霊的状态) 2. 奴隷病氣 3. 奴隷根性、思想</p> <p>□本論_25節 神様がイスラエルを試みようとして-40 年荒野を行かなければならない。 1. 出エジプト過越祭を記念しなさいと言われたことを逃しやさい。 1) 出 3:1-18 血のいけにえを献げに行きなさい。力の手であなたとともにいる。 2) 10 の奇跡をなされた。 3) 過越祭-血を塗った日に解放。荒野の道を行く間に忘れてはならない。 2. 紅海体験 1) 海の中に導かれた神様 2) エジプトの陣営が行くようにされた。 3) エジプトのすべての陣営を滅亡させられた。 △皆さんが受ける苦難と試みをどのように解釈するのかを説明する。エジプトの偶像の力も、紅海も問題にならない。40 年間、ものすごい道を行かなければならない、皆さんの人生で残すことが 40 年の奥義の中にある。 △試みの二つの奥義-神様の重要なことを啓示する時間、カナンへの地に入る人を分別する時間 △皆さんが受ける試み、恐れてはならない。神様が語られる。「エジプトからあなたを救い出さなかったのか、紅海でも救い出さなかったのか」 3. 未来 どのようにすべきか。カナンへの地に連れて行くには、絶対条件がある。信じて子どもたちに知らせなさい。 1) 絶対主権-私のいのちを主管される神様。私がなぜこの教会にいるのか 2) 絶対計画-なぜ荒野を行くべきなのか。神様が導かれるのだ。 3) 絶対契約が出てくる。そうでなければ、いつも揺られてカナンへの地に入れない。 4) 絶対旅程が出てくる。 5) 絶対目標-カナンへの地に行くことと世界福音化は神様の計画だ。</p> <p>□結論 1. エリム(大きい木) 2. 十二の泉(選択) 3. 70 なつめ椰子(征服) 出暗闇-エジプト、荒野から出て無駄だ。ついてくる。暗闇からお前たちを救い出された(コロ 1:13) △神様が皆さんを試みられる。まことのことを与えようと。神様が必要なこと、体験しなければならないことをくださったのだ。陥れば難しいが、陥らなければ土台だ。</p>